

岸和田市立城東小学校
 指導者 藤原幸平
 日時 令和7年11月6日(木)
 第5時限(13:40～14:25)
 学年・学級 6年1組(35人)

1. 単元名

『江戸幕府と政治の安定』

2. 単元の目標

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現することを通して、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、江戸時代の始まり参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え、適切に表現している。	①江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を解決しようとしている。
②調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。	②江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。	

4. 教材の取り扱い

教材観

本小単元は、第6学年の内容(2)ア(キ)を扱っている小単元である。江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制などを手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにすることが、本小単元のねらいである。

児童観

本学級では、学習過程・学習形態・学習ペースを児童に任せるようにしてきた。その結果、必要な情報を自分たちで集め、相手を意識してまとめることはできている。しかし、まとめた内容を自分の知識として、いかすことが難しい児童が多い。

学習で使用するさまざまなアプリケーションについては、用途によって使い分けられている児童もいる。学習グループの組み方については、学習に苦手意識を持つ子ほど仲良しグループになってしまう。

指導観

江戸幕府の始まりについては、江戸幕府が大名の配置を工夫することによって政治を安定させようとしたことがわかるようにする。将軍による支配の安定については、武家諸法度の制定や日光東照宮、江戸城の建設が、将軍による大名の統制に役立ったことがわかるようにする。参勤交代については、大名が将軍のもとで服従の態度を示すことを義務づけられたことの意味を考えられるようにする。身分制については、人々が身分に応じてどのように暮らしていたのかを重点的に考えられるようにする。鎖国については、キリスト教が禁止されたことの意味と合わせて、鎖国のもとにおける我が国と外国との関係についても捉えられるようにする。

本時においては、児童がそれぞれに調べて学習したことをまとめさせ、互いに交流し合う中で学びを深めていくことができるように学習活動を組織していきたい。仲良しグループになってしまう児童には時間で区切り、他の児童からも意見を得ることができるようにする。

5.指導計画（全6時間）

- 第1時 徳川家康と江戸幕府
- 第2時 将軍による支配の安定
- 第3時 大名の取りしまりと参勤交代
- 第4時 人々のくらしと身分
- 第5時 キリスト教の禁止と鎖国
- 第6時（本時） 第1時～第5時のまとめ

6. 本時の展開

（1）本時の目標

幕府の政治のしくみや調べてきたことを整理し、当時の人々の立場になり、表現する。

（2）本時の評価規準

江戸幕府の政治と様々な立場の人々の思いを関連づけて、江戸幕府が世の中を安定させた方法について多角的に考え、記述できている。

（3）本時の判断基準

十分満足できる状況（S）	おおむね満足できる状況（A）	努力を要する児童への支援
江戸幕府の政治と様々な立場の人々の思いを関連づけて、江戸幕府が世の中を安定させた方法について多角的に考え、記述できている。さらに、世の中に起こりうる問題を想像している。	江戸幕府の政治と様々な立場の人々の思いを関連づけて、江戸幕府が世の中を安定させた方法について多角的に考え、記述できている。	江戸幕府の政治と様々な立場の人々の思いを関連づけて、江戸幕府が世の中を安定させた方法について多角的に考え、記述できていない。 →教師と一緒に、今までの学習を振り返りながら、記述を進めていく。 ヒントカードを参考にして進めていく。

（4）本時の学習の手引き

めあて：幕府の政治のしくみについて調べてきたことを整理し、当時の人々の思いをまとめる。

S：人々の思いを捉え、根拠をもとに政策について見直すことができる。

A：江戸幕府の政治と様々な立場の人々の思いを関連づけて、江戸幕府が世の中を安定させた方法について記述できている。

問題発見：当時の人々の思いはどうだっただろう？

情報収集：①それぞれの立場の人々の思いについて

②政治によって世の中はどうなった？

整理分析：関連づける、多角的に見る

表現発信：google スライドにまとめる（教科書 P.86を参考に）

(5) 本時の学習過程

	S	A	B
導入 (全体) 10分	○前時までの振り返り ○江戸幕府の政治を確認 ●政治 ・武家諸法度と参勤交代によって将軍に従わせた。 ・日光東照宮や江戸城の建設で幕府の力を見せつけた。 ・キリスト教を禁止した。 ・貿易を制限し、幕府が独占した ・身分に応じて異なる場所にすまわせた ・年貢や役などのさまざまな負担を負わせた ○本時の学習課題を確認する。 ○学習の手引きを確認する。 ○本時の目標を確認する。 いつでも確認できるように黒板、クラウド上に残す。		
展開 (フリー) 30分	○教科書 P.76～P.86から、行われた政治を根拠に人々の思いを読み取る。(他者参照 可) ●人々の思い ・外様大名「1年おきに江戸に住んで将軍に従うことは大変だ。」 ・百姓「年貢や役の負担が大変。農具や肥料を改良して、技術を高めよう。」 ・オランダの商人「貿易を独占できる。でも、規模を広げたいな。」 ◎気づき、困りごとなどメモを padlet に残していく。 ◎読み取ったことを google スライドにまとめる。		
	○歴史的流れを捉えて、起こりうる問題点を考える。 ・幕府の圧政に反発が起きそう。 ・争いが起きる。 ・貧富の差が大きくなりそう。		☆ヒントカードを送る。 ①どんな身分の人たちがいた？ ②政策によって人々はどんなことを思った？

振り	○振り返りをする。
返り	・法律を作ったことで国を治めていた。
(個人)	・人々は幕府に対して不満も持っていた。
5分	・商人はうれしいと思う。

7. 板書計画

㊦幕府の政治のしくみについて調べてきたことを整理し、当時の人々が思いをまとめる。

S:人々の思いを捉え、根拠をもとに政策について見直すことができる。

A:江戸幕府の政治と様々な立場の人々の思いを関連づけて、江戸幕府が世の中を安定させた方法について記述できている。

問題発見: 当時の人々の思いはどうだっただろう?

情報収集: ①それぞれの立場の人々の思いについて

②政治によって世の中はどうなった?

整理分析: 関連づける、多角的に見る

表現発信: P.86を参考にスライドにまとめる